

●本書「序章」より

一八七五年九月の江華島事件を契機に翌七六年二月に釜山ほか二港（その後、この二港に元山と仁川が決まる）の開港と開港場での治外法権―領事裁判権の承認などを規定した不平等条約である日朝修好条規（江華島条約）を締結して朝鮮への勢力扶植に腐心していた日本は、特に日露戦争以後、三次にわたる日韓協約を通じて朝鮮（一八九七年から朝鮮の国号は大韓帝国となる）の国としての機能を次々と奪い、植民地化を推し進めていった。……

第二次日韓協約（日韓保護条約）―乙巳保護条約の締結によって朝鮮の外交権を剝奪して「保護国」とし、韓国政府を統轄する統監府（初代統監は伊藤博文）を漢城（併合）後、京城と改称される。現、ソウル）に設置した（統監政治）の開始。これによって朝鮮は、国際法上、独立国家―主権国家としての地位を奪われてしまったのである。次いで〇七年七月の第三次日韓協約―丁未七条約によって韓国政府の各部（部は日本の省に当たる）すべてに日本人次官が配置されて内政全般に対する統監の支配権が確立した（次官政治）の開始。また朝鮮の軍隊もこのときに解散させられた。そして、ついに一〇年八月の「韓国併合に関する条約」によって日本は朝鮮を完全に植民地とするに至ったのである（一）。

東洋拓殖株式会社（以下、東拓と略）は、朝鮮が日本の「保護国」となり、内政全般に対する統監の支配権が確立した「次官政治」の時期に設立された。すなわち、東拓は一九〇八年三月に第二回帝国議会で可決され、八月に日韓両国政府によって公布された「東洋拓殖株式会社法」に基づいて、同年一二月に朝鮮における農業拓殖事業を営むことを目的に設立された日本のいわゆる国策会社であったのである。……

●関連図書のご案内

朝鮮における 日窒コンツェルン

窪部 隆 少

朝鮮総督府 帝国議会説明資料

「復刻版」全17巻

- カシエオン
姜在彦編
- A5判・上製・三九六ページ
- 定価 〇〇〇円十税
- 85年10月刊

ISBN-8350-4619-6

日本の典型的新興財閥で電気化学工業の代表的企業である日本窒素―野口コンツェルンの朝鮮進出と経営実態についての詳細な研究。それをめぐる朝鮮の農民・労働者の抵抗運動をも解明。

- 朝鮮総督府刊
- A4判・上製・総五、二四〇ページ
- 揃定価 〇〇〇円十税
- 94年4月～98年6月刊行完結

朝鮮総督府が、帝国議会提出のため作成した『帝国議会説明資料』は、現在その大部分が散佚又は焼却され、その内容を把握することさえ不可能に近い。弊社では内外の研究者・各機関の協力を得て、現在収集可能なもの全てを網羅し、復刻刊行した。大正六年から昭和二〇年までの植民地朝鮮の「治安状況」を中心とする民衆の動向など、植民地支配の全分野を含む、近現代史研究の基本資料である。

●推薦 海野福寿・朴慶植・水野直樹・宮田節子

不二出版
〒114-0011
東京都文京区向丘1-11-11
TEL 03(3811)4433
FAX 03(3811)4464
振替 001-601-194084

●表示価格は、全て税別。

国策会社・ 東拓の研究

河合和男・金早雪
羽鳥敬彦・松永達
●共著



京 城 支 店

東拓

（―東洋拓殖株式会社）は、

朝鮮が日本の「保護国」となった後の、一九〇八年に設立され、いわゆる国策会社として日本帝国主义とともに歩み、その崩壊とともに一生を終えた。

本書は、東拓の多面的な事業活動を総体的に把握し、それを通じて東拓の全体像や

歴史的意義に迫ろうとした共同研究の集大成である。

A5判・上製・三二八ページ
定価 〇〇〇円十税 ●二〇〇〇年一月刊行

不二出版

序章——国策会社・東洋拓殖株式会社

河合和男

- 一、朝鮮植民地化と東拓の設立
- 二、国策会社としての東拓の特徴
- 三、東拓の事業展開の概要
- 四、本書の構成

第一部 東洋拓殖株式会社の通史的分析

第1章——東洋拓殖株式会社の設立とその背景

松永達

- 一、東拓の設立構想
 - 二、朝鮮半島への日本の移民排出構想
 - 三、東拓の設立と土地取得の瓦解
- 第2章——東洋拓殖株式会社における政府および役員
- 一、原始日韓東拓法と「政府」
 - 二、東拓法大改正と役員問題
 - 三、歴代東拓総裁

金早雪

第3章——一九二〇年代の経営危機と整理

羽鳥敬彦

- 一、整理の背景——業務拡張
 - 二、一九二四年の整理
 - 三、二七年の整理
- 第4章——東洋拓殖株式会社における国策投資と戦時体制
- 一、東拓の国策投資概略
 - 二、朝鮮の兵站基地化と東拓の国策投資
 - 三、国策会社の比較分析

金早雪

第二部 東洋拓殖株式会社の事業経営分析

第5章——東洋拓殖株式会社の移民事業

松永達

- 一、移民事業の展開
 - 二、移住民の経営状況
 - 三、移民事業の変容と帰結
- 第6章——東洋拓殖株式会社の農業経営
- 一、東拓の土地管理と地主経営
 - 二、産米増殖事業と東拓
 - 三、所属小作農家の営農状態

河合和男

第7章——東洋拓殖株式会社の資金調達と運用

金早雪

- 一、資金構造と事業展開
 - 二、株主構成および社債
 - 三、資金運用と収益
- 終章——敗戦と東洋拓殖株式会社
- 一、東拓本社の閉鎖機関指定と特殊清算
 - 二、東拓の海外資産処理——朝鮮での事例を中心に
 - 三、連続と断絶——むすびにかえて

河合和男

資料

金早雪・編

- 資料Ⅰ 東洋拓殖株式会社法
- 資料Ⅱ 東拓経営指標
- 資料Ⅲ 東拓出版物、関係資料および参考文献
- 資料Ⅳ 東拓関連年表

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください

●発行所

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12
 TEL 03-3812-4433
 FAX 03-3812-4464

注文カード		帖合・貴店名	
冊数		冊	
摘要	書名	発行所	
	国策会社・東拓の研究 ISBN4-938303-97-3 C3021 ¥7800E	不二出版	
		著者名	河合和男・金早雪 羽鳥敬彦・松永達
定価=本体7,800円+税			
年 月 日注文			
住所氏名		様	